

ウォルター・モンデール氏の逝去を悼んで(1928-2021)

～マンズフィールド財団より追悼メッセージ～

4 月 20 日

[“Remembering Walter Mondale \(1928-2021\)”](#)

モーリーン・アンド・マイク・マンズフィールド財団は、19 日に逝去した[ウォルター・モンデール](#)元副大統領(享年 93 歳)の訃報に接し、謹んでお悔み申し上げます。



モンデール氏は上院議員、副大統領、駐日米国大使と皆から敬まわれた公僕であり、マンズフィールド財団の強い支援者でした。マンズフィールド財団の理事を 2004 年から 2008 年まで務め、その後は 2014 年まで理事会会長として財団を支え、2014 年には財団に新設された国際・アドバイザー・ボード(国際諮問委員会)の議長に就任し、亡くなるまでその任を務めました。

モンデール副大統領は、マイク・マンズフィールド大使の上院議員時代の同僚であり、弊財団理事として、財団設立 25 周年記念、さらには 30 周年記念の大事な節目を通して財団を導いてくれました。また、ワシントンDCで行われる財団の活動に参加するだけでなく、理事代表団を率いて訪日し、福田康夫元首相や麻生太郎元首相と面会もしました。その後も、財団への支援や財団の基幹プログラムである[マンズフィールド・フェロースhip・プログラム](#)を後押しし続けました。

ミネソタ州出身であるモンデール氏は、1960 年から 1964 年までミネソタ州検事総長、1964 年から 1976 年までミネソタ州選出の米国連邦議会上院議員を務めました。1976 年には米国大統領選挙で民主党の大統領候補であるジミー・カーターから副大統領候補に選ばれて当選しました。さらに、モンデール氏は 1984 年に民主党の大統領候補に選出されています。また民主的機関の維持と強化を目的とした国際的プログラムを実施する全米民主研究所の会長や、クリントン政権の 1993 年から 1996 年にかけては駐日米国大使を務めました。その他にも、ガスリー・シアター財団、メイヨー財団、ミネソタ大学財団などの理事や企業の重役を歴任しました。

モンデール氏は、ミネソタ大学より政治学で学士号を取得した後、米軍陸軍に入隊し、伍長で除隊するとミネソタ大学ロースクールに入学し、優等な成績で法学士を取得し、「ロー・レビュー」やミネソタ州最高裁判所の法務書記の仕事に就きました。2008 年 1 月に、日本政府は高位勲章の一つである桐花大綬章をモンデール氏に叙勲しています。